

つながる・ひろがる交流会～西山学区～

日時：平成 30 年 11 月 16 日(金)

14:00～15:30

場所：名東区役所 講堂

テーマ 「第 37 回親子で東山一万歩コースを歩く会」について

1 概要

西山学区では、青少年育成協議会主催による「親子で東山一万歩コースを歩く会」を慣例行事として行っており、今年は 11 月 11 日(日)に第 38 回目が実施されました。本来の東山一万歩コースは全長 6.2 km ですが、「親子で東山一万歩コースを歩く会」では、そのハイキングルートの一部をアレンジして散策コースを設定し、年配の方や小さなお子さんでも完歩できる距離です。「親子ボウリング大会」と並んで人気のイベントです。

2 課題

- ・ウォーキングしながらおしゃべりや森林浴を満喫でき、しかも地域の方々同士で交流できる良い機会なので、より多くの人に参加してもらいたいが、自治会の回覧を見て参加される方は少なかった
- ・イベントには当日参加可能だが、加入保険への参加者名簿からは漏れてしまうため、保険適用外(未加入)となってしまう
- ・イベント名の「親子で」が印象強いせいか、子ども会からは多くの親子参加がある一方で、中高生や子ども会に関係ない大人の参加が少ないので、このイベントの良さのPR方法を考えていきたい

3 意見交換の主なやりとり

<質疑応答>

○(学区連協会長)

イベントの中止の場合、役員への連絡や、購入済みの品物はどのようにされていますか。

→(西山学区連絡協議会会長) 一万歩の場合は前日の天候から考慮します。当日連絡はコミセンと集合地の植園公園に出向いたり、メールで周知します。消費期限の無い品物は次のイベント用にしたり、不公平の無いように配付していますが、飲食物(運動会役員のお弁当)は当日配ります。

○(コミュニティサポーター)

西山学区さんは、この他にもイベントが続きますが、上手く分担されていますか。

→(西山学区連絡協議会会長) 青少年育成については、ボウリングは小学校PTA、一万歩は中学校PTA、運動会は体育委員と、なるべく各ポジションに任せていく方向性を手探りでやっています。一部の役員には苦勞を掛けていると思いますが、皆さんに協力的に参加していただきたいので、開かれた連絡協議会にする為に、大きなイベントの後には必ず反省会を行うようにして、各部会から意見が上がりやすいようにしています。

<各学区のご意見>

○(学区連協副会長)

地理的、場所的にも非常に自然に親しめる良い環境で、毎年連続して行われているのは凄いなと思いました。小さいうちから自然の経験をしているのは大事な知識になると思いますので、ぜひ継続していただきたいです。

○(子ども会会長)

独自のイベントですと、東邦大学さんには、お手伝いをしていただいています。お祭りに出店してもらったり、子ども会では女子サッカー部の皆さんにサッカーを教えてもらったこともあります。

○(コミュニティサポーター)

このイベントの中で学区の方々の細やかな配慮がされていて素晴らしい活動だと思います。また、課題の一つにPR方法のことがありましたが、組回覧を見て、「親子じゃないから」とか、「誰も書いていないから」と、心理的な面で難しい点もあると思います。イベント用だけのメールアドレスを作ってメール申込みにするとか、親子以外の参加者が少ないのであれば、チラシの写真で高齢者や中高生が参加していることが分かるようにしたり、季節的にはハロウィンの仮装のようなのも取り入れてみると、中高生も参加してみたくなるかもしれません。途中のポイントで「トリックオアトリート」してみると、子どもも喜ぶかなと思います。これからも青少年育成のために、どうぞよろしくお願いします。

4 まとめ

<西山学区連絡協議会会長>

今年で38回目のこのイベントですが、各役員のお力や諸先輩方の積み重ねによって、地域的な特性を生かした開催が出来ております。本当にありがたいことで、マンネリ化にならないように、皆様からいただいた貴重なアドバイスを参考に、今後も続けていきたいと思っています。

<名東区長>

西山学区の皆さん、本当に楽しい発表をありがとうございました。

イベントに対して非常にシステムチックに取り組まれている印象を受けました。また、必ず反省会を行われているとのことで、その積み重ねが益々良くなっていくのだと思います。このイベントも、区開催の「ふれあいウォーク名東」も、子どもから高齢者まで一緒に自然の中を歩くのを楽しむことで好評を博していますので、青少年育成だけではなく多世代交流の場としても非常に良いと思います。

区民が愛着を持ち、誇りに思っている恵まれた自然環境を、各学区での色々な取り組みに、是非活かしていただきたいです。